



なかみ のる 実 中村み のる 県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

受動喫煙防止対策 議論を尽くすべき

県民の理解が大切

6月定例県議会で平成27年4月の初当選以来、早くも5度目の一般質問に立った中村実県議(船橋市選出、1期)は受動喫煙防止対策や海老川水門改修などについて森田知事ら県執行部に質しました。受動喫煙防止対策では広く県民

の理解が得られるよう、実効性のある対応を要望、老朽化が目立つ地元船橋市の海老川水門については「直轄事業としての整備を国に要望している」との答弁を得ました。中村県議の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

6月定例県議会一般質問



登壇し一般質問を行う中村実県議

中村議員 受動喫煙対策は重要であり、さまざまな取り組みがなされている。東京都のように、独自の条例による規制を目指しているところもある。たばこを吸う人と吸わない人とお互いを思いやれる世の中であってほしいと願ってやまない。

受動喫煙の対策については、健康被害を防ぐために重要であり、望まない受動喫煙を予防することはあまねく認識されている。対策が地域によって違う

しまうことや、規制を受ける側の意見についても、慎重な議論がされているのかと疑問に思うやり取りを見聞することもある。強制力を伴う条例による規制については、十二分な議論が必要だと考える。

議論が成熟している論点と、未だ熟していない論点を別立てで議論すべきであると、常々考えている。自己の責任において判断し、選択ができない方、特に子供の健康を守るための対策こそが最も重要であり、急ぐ

べきことであると考える。お店などのように、行く行かないと自らの意思で判断の上で選択はできる状況と、公共の空間を通行する機会といった、選択の自由が狭められる場所での対策は、極めて重要であると考える。

そこだろうかすが、受動喫煙に対する県の認識はどうか。また今後、どのように防止策に取り組んでいくのか。

保健医療担当部長 受動喫煙は、健康への悪影響が科学的に明らかになっていくことから、特に、子供や妊婦の方々などを受動喫煙の害から守ることが重要

です。

このため県では、母子手帳交付時に「たばこの害を記したリーフレットを配付するとともに、飲食店において喫煙環境を店頭表示するよう推奨するなど、受動喫煙防止対策に取り組んでいます。現在、受動喫煙防止対策を強化するための健康増進法改正案が国会で審議されていることから、県としてはその動向を注視しつつ、引き続き受動喫煙防止の重要性について普及啓発を推進してまいります。

要望 中村議員 東京都における条例化による

拉致問題を啓発

中村議員 拉致問題の啓発についてうかがう。拉致問題の県民世論への啓発について、県はどのように取り組んでいるのか。

総合企画部長 北朝鮮による拉致問題は、我が国の主権及び国民の生命と安全に関わる重大な問題であり、決して許すことができない行為です。

全ての被害者が一日も早く帰国できるよう、我が国の総力を挙げて取り組むべき課題であると認識しており、県としても、県民だより、新聞、テレビ、ラジオ等の各種媒体を通じた広報や、拉致被害者のご家族の活動などを描いた映画「めぐみ」の上映会などを行い、啓発に努めているところです。

さらに、来年1月には市川市で、北朝鮮における拉致被害者の状況などを描いた舞台劇「めぐみへの誓い―奪還―」の上演を予定しており、中高生に観覧を呼び掛けるなど、若い世代を中心に、より多くの県民の皆様が拉致問題についての認識を深めていただきたいと考えております。

来年1月、市川で舞台劇上演

中村み のる プロフィール

経歴

- 昭和42年9月生まれ 西海神小、葛飾中、県立八千代高、中央大学法学部法律学科卒業
- 平成3年4月 住友重機械工業入社
- 平成11年4月 船橋市議会議員 初当選(4期連続当選)
- 平成27年4月 県議会議員初当選

現職

- 県議会 総務防災常任委員会委員長

つて規制を強化しようとする動きを見ていると、議論が尽くされないまま採決に至るのではと危惧している。

本県においては、国の法令化などの状況を踏まえて取り組むようだが、県民に対して受動喫煙防止対策が広く理解を得られるよう、実効性のある対応をお願いしたい。

県の文書、正確な表記を 「子ども」でなく「子供」 でうかがう。

中村議員 県の文書における「子ども」の表記についてうかがう。

県では条例、規則、通知などの公用文や各種計画などの様々な文書やポスター、パンフレットなどの印刷物を作成している。この中で、「子供」という言葉における漢字の使い方についてかねがね気になっている。

本来、「子供」という言葉はすべて漢字を用いて表記するものだが、「こ」だけを漢字にし、「ども」はひらがなを使ういわゆる「ませ書き」が散見される。

法律などの固有名詞の表記を引用して、「ませ書き」を行うことはやむを得ないものと考えるが、そうでない場合にまで県の文書に「ませ書き」を用いるのはいかがなものかと思ふ。

そこでうかがうが、県の文書における漢字の使用基準はどのようなものか。また、その基準をどのように周知しているのか。

総務部長 県の条例、規則、通知などの文書における漢字の使用については、原



議場の自席で県の施策に要望を行う中村実県議

則として、行政文書規程において常用漢字表によることとされており。しかしながら、文書やポスターなど

の一部には固有名詞の引用や、読み手の印象などを考慮して、平仮名やませ書きが用いられているものもござ

います。基準の周知についてですが、毎年度、各所属の担当者を対象に文書事務説明会

を開催し、テキスト等の全員供覧を依頼しているほか、新規採用職員向けの研修などにおいて行っているところ

です。中村議員 県の文書における漢字の表記は、本来の基準により取り扱われるよう、しっかりと周知されるよう要望する。

改修必要な海老川水門 国直轄事業を働きかけ

中村議員 海老川水門の改修の取り組み状況はどうか。

国土整備部長 海老川河口に位置する海老川水門は、高潮や津波からの浸水防護

のため、昭和40年代に建設されましたが、建設から約50年が経過しており、老朽化及び耐震化対策が課題となっており。

現施設は、年間約180

日運転しており、改修にあたっては、運用しながらの建て替えとなることや、船舶の航路を確保したうえで

の海上工事となるなど、大規模かつ高度な技術が求め

船橋市内4地区

交番設置要望に 前向きな検討を

前向きな検討を

中村議員 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた警察力の強化にどのように取り組むのか。

警察本部長 県警では、平成28年8月に、「千葉県警察2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会対策委員会」を設置し、東京オリンピック・パラリンピックの各種対策を推進するための組織横断的な協議・検討を行っているほか、

本年4月には警察本部警備部にオリンピック・パラリンピック対策課を設置いたし

まして、東京オリンピック・パラリンピックの円滑な運営と安全を確保するため、所要の体制を構築いたしました。

られることから、直轄事業としての整備を国に要望しています。

今後も、オリンピック・パラリンピック対策課を中心として、競技会場等オリンピック関連施設の警備対策はもとより、公共交通機関や大規模集客施設に対するテロ対策、関係者の輸送や聖火リレー等の交通対策等、各種対策を推進するとともに、

促進協議会等を通じた働きかけを行っているところ

です。県では、早期の直轄事業化に向けて現在、国への重点要望や、港湾関係者で組織する千葉県港湾整備促進協議会等を通じた働きかけを行っているところ

が著しい海老川水門の整備は急務であり、引

また、今回の一般質問では、船橋地区に四つある水門や排水機場のうち、最も大きい海老川水門について取り上げたが、残る西浦排水機場、栄排水機場、日の出水門についても、防災上、非常に重要なものであるため、適宜改修を進めてもらいたい。

地域農産物、ブランド化で販路拡大

用や繁華街等における防犯カメラの設置等の治安対策、道路標識等の英語表記を進めるなど、県民の皆様はもとより、外国人の方々にも安全で安心して大会を楽しんで頂けるよう、万全を期して参ります。

中村議員 限られた財政事情や必要な人員確保の面など、課題は多いとは思いますが、船橋市内の子町、日の出、大神宮、高野台を始めとする交番設置要望に関しては、地域情勢を総合的に勘案して頂き、前向きに検討されるよう要望する。

中村議員 農水産業の振興について、特色ある地域農産物のブランド化にどのように取り組んでいるのか。
知事 品質や栽培方法などに特色のある地域農産物の付加価値を高め、イメージアップを図るためには、地域の主体的なブランド化の取り組みが重要です。
このため県では、専門家を交えたブランド化戦略の策定や加工品の開発、商談会への出展など、生産者団体等が行う取り組みを支援するとともに、バイヤー向けのカタログに商品掲載するなど、販路拡大につながる取り組みを積極的に行っています。
今後とも、生産者団体や市町村と力を合わせ、県産農産物の知名度向上や

●県政と船橋市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

中村みのる 県議事務所 TEL.047(433)4047 FAX.047(433)4024

〒273-0031 船橋市西船4-29-17 ルーラル5番館1F

販売促進を図ってまいります。